

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ (/)
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1715.53	kinoko (Kinokoよりよに 10に1肉えり)	
1743.70	コケ (稀)	キノコ
1744.60	キノコ <コケとは 全般云わぬ>	
1757.61	キノコ <キノコといふ>	
1781.95	キノコ <コケといふ いわぬ>	
1791.33	キノコ (コケといふ いわぬ)	
1862.48	キノコ <「キノ」といふ = ともある。 「きのこ」を多く使う。>	
1862.52	コケ キノコ	3.73はコケ。コケは 食べられないもの もあるが。キノコは 食べられるもの。

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	(2)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
2783.48	NR ひくじめた名なし	
3745.62	“キノ” (「キノ」)と(南)えたので: 聞き直し キノ “たはキノ”と(た)た.)	
3746.09	誘 kinoko	
4588.98	koke <希>	mimi
4589.83	koke <新>	mimi
4598.33	koke <新>	mimi
4598.59	mimi <古>	koke
4598.74	koke <新>	mimi
4599.31	koke <古>	mimi

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は散密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (3)
項目名 キノコ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4609.68	modasi < キノコ 鶏冠 a = b >	
4637.20	modase < 古 > < 希 > (南魚沼郡湯沢町大字土樽に modasi という語あり。独立しては用いず。 sugimodasi (杉の古株に生える一種の キノコ) という語の一部となつてゐる。)	
4637.68	kinoko < 075 で 加ふる様に koke も使うが koke < キノコも kinoko に多く用いゑる >	
4638.22	kinoko < 多 > koke < と.う.こ.と.も.た.う.で.は.な.い >	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(4)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4638.43	kinoko < 友人に対してはこれを多く用いる > koge < 希 > < 共 > kogerui (総称) (kinoko, koge も総称で あり得る)	
4648.42	kinogo < 古くから用いられ、今も普通これを(用) > koke < 希 >	
4653.02	mi'mi < シーメツミなどともいう >	
4658.42	koke < 希 > < 共 >	kinogo
4665.87	kinoko < kinoko は「木のけ」に生える koke と説明した。 > koke	
4666.51	koke < 古-現 >	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きりこ		(B 除いた共通語)	(5)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4672.19	mimi < 若い時から盛んに用い、今もこれを最も多く用いる。子供に対して青年に対してもこれを用いる >	
4675.45	koke < きりこは去わない >	
4676.42	キリコ (多), コケ (希)	
4686.52	koke 昔から今まで用いている。	
4686.96	koke < 希. 彰 > < ? 戦争中から用いる程に多くなった >	kinoko
4687.01	kinoko < 昔も今も多く用いる > koke < 希 > < 昔. koketorige 熟語として多く用いた。今は少。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。◀

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	(6)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4694.26	kinoko < 若い時か's, 今も用いる > koke < 子供の時は用いることが少かった。 > < koke tori ということばがある >	
4695.33	kinoko < 若い時か's すると、 ^{用い} 今も主にこれを ^{用い} 。 >	
4695.87	koke < 形 > (別の言い方はありませんか?) kinoko 復問に対相反応。)	
4696.82	koke < 形 >	kinoko
4723.14	kinogo (食用), busi kinogo (毒)	
4736.63	kinoko < この島にはない >	
5462.57	#97 < 食用のジツケ, 毒はクソツケ >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(7)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5463.64	タケ < 食用 - サマツ, マツタケ, シイタケ, ネズミタケ 毒 ... トツタケ >	
5472.31	タケ < 種類少く (食用) マツタケ, ノコギリ (毒) トツタケ など >	
5472.91	take < 右 >	k ^s inoko
5508.16	koke < 新 >	mimi
5508.19	koke (復旧しなから suata へ)	
5517.78	コケ 0775 コケは「きのこ」	
5536.99	コケ 同 上	
5538.50	コケ 同 上	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は散密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きりん		[B 除いた共通語]	(8)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]		A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5538.88	コケ	0778 「きりん」	
5539.43	コケ	同上 「きりん」をコケと云う。	
5547.96	コケ	0775 コケ(きりん)	
5559.51	コケ	(77)	
5564.79	コケ	(77)	
5565.12	コケ	0775 コケは「きりん」	
5566.95	コケ	同上	
5567.46	コケ	(77)	
5568.57	コケ	(77)	
5574.42	コケ	(77)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 きりこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(9)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5574.42	コケ (77)	
5574.79	コケ (77)	
5575.55	コケ (77)	
5575.93	コケ (77)	
5576.60	同 上	
5577.88	同 上	
5578.27	同 上	
5579.10	同 上	
5584.22	同 上	
5584.57	同 上	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ
項目名 きのこ			(10)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5584.57	コケ (77)	
5585.09	同 上	
5585.63	同 上	
5586.56	同 上	
5586.70	同 上	
5587.74	同 上	
5588.79	同 上	
5588.81	同 上	
5589.30	同 上	
5591.60	ワサビ<ケ>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 キノコ		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(1)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5594.37	コケ (77)	
5595.89	ケケ, コケ ← 077 F) Tak.	
5597.78	コケ (77)	
5598.53	同 上	
5598.67	同 上	
5599.41	同 上	
5599.75	同 上	
5602.99	koke < kinoko (不便な) >	
5603.35	koke < 多. 昔は使った >	
	kinoko < 少年時代 使ったこともある >	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (12)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5604.52	kinoko < 古くから用い、今も多く用いる > koke (新) < 昔は使わなかった。箱崎 方面から入ってきたことばかり。 ある。 >	
5604.65	キノ } < 昔から両方の言い方があった。 コケ } 今ではキノの方を多く用いる。 >	
5605.11	koke <上><共>< 地所の人に対して時に用いる > kinoko < 普通の場合に多く用いる >	
5611.39	koke < 子供の時から用い、今も盛んに用いる >	
5613.33	koke (「外に言い方はありませんか?」に対する返答) < 昔からこれを用い、今もこれと多く用いるかも知れない > < 一般の人には koke-tori という > (上の「一般の人」がはっきりしない)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(13)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5613.53	koke (友人間で使う)	
5620.80	コケ (77)	
5621.43	kinoko (多) < 此の古言葉の方が知られる > koke < 工場の一般の人はこれを使うことが多い > 知られる	
5623.85	kinogo < こまご go のホテル > (キノゴを工と 発音している)	
5624.85	tʃinoko < 古 >	kinoko
5703.68	kinoko < 990 のように何本も見た事、これはもう moda ji と いう。 >	
5711.85	take < 希 > < 「も」take が去たことだ。などという。 > あ。 >	kinoko

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は敢密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		(B 除いた共通語)	(14)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6287.42	naba <古>	kinoko
6287.71	^{食用のキノ} 総称なし。 <nabaや kinokoを単独に用いることは dokutake ない。 dokunaba, ji:take, matsutake _{毒茸の総称} などという。田舎では nabaも使う称 思う。>	
6338.99	タケ <松たけ = ナハ>	
6339.86	タケ <毒茸 = ツツタケ>	
6348.77	キノコ <ナハという赤色がある> <毒茸 = ドクキノ>	
6349.23	タケ <茸狩 = タケノキノ ^(キノ) >	
6349.80	naba <新> [古]	kinoko
6356.98	ナハ <女の語>, ドホナ <古>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ
項目名 きのこ			(15)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6357.38	マケ < 毒茸 - クソタケ > < 作家人 - ナハシ >	
6358.43	キノコ < キノコツク木 - ナハキノ >	
6368.59	ナハ < コクサない >	キノコ
6377.11	ドホオ < 百 > , ナハ < 鈴 >	
6377.65	ナハ < 木に生えたもの > クサヒラ < 地に生えたもの >	
6379.68	ナハ (例えは マケタケナハ)	キノコ
6401.89	・総称はない ... < 個別に名を置く。マケタケ等 > クソタケ ----- < 毒茸 >	
6402.94	・総称なし ... < マケタケ、マケタケ(ムシ?) など > クソタケ ----- < 毒茸 >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ (16)
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6407.28	タケ きのこは タケカ 起伏型) p222e 竹は タケガ 平板型) 異。	
6408.72	mi「mi <古>	take
6410.77	タケ <毒茸 = タケ>	
6412.12	・総糸なし <マケタケ, マケタケ, など個刺糸> トケタケ <毒>	
6414.25	kinoko <木に生ずるきのこをいう>	take
6415.78	take <まけ竹, したけなどの株にふく茸のみをいふ>	kinoko
6415.83	kinoko <古>, take <新>	
6418.75	タケ <共>	ミ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(17)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6419.09	アチラ <石, 蕨>	キノ
6420.58	サマシラ <蕨>	キノ
6422.77	キノ <コオキノが多い> サマシラ <キノのつがいのキノ>	
6422.93	キノ <キノ>, キノ <古>	
6423.75	take, kinoko <キノもキノも同じキノ>	
6424.20	take <土の上に生えるキノ> kinoko <木に生えるキノ>	
6424.89	kinoko 湯原町産, 豊原 take	
6424.92	キノ <音>	キノ

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (18)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6428.13	タケ < 初上, 共希 >	ミミ
6429.61	タケ < 希共 >	ミミ
6429.65	タケ < 初共 > < 最近に椎茸栽培を本邦に 6203. タケもよく言われる >	ミミ
6430.53	ササレホ < 古 > < 食用, 779ヶ, シロクシ, 823ヶ 16ヶある >	
6431.41	ササレホ < 稀 >	ナハ
6440.67	ナハ < きに狩り - ナハコキ >	
6443.61	ナハ 魯 < 松茸以外に ナハの希産 > タケ 希	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の < > () [] は敢密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(19)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6449.20	take きのこ・シイタケ・ハクダケ or ソイタケ を、ひくちめてタケとい)	
6449.84	NR (総称のたいし)	
6453.64	ナハ <若い者はタケとい。これは(おれ)の言方>	
6458.40	? タケ <ここにはない>	
6459.29	ZOOTAKE <きのこ、シイタケ以外の食用茸を HATTAKE ソイタケ、或はハクダケと呼ぶ?>	
6464.90	ナハ <古、上>	タケ
6467.73	mattake ① * take mattake	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	(20)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6469.19	シバハリ <古>	マワケ
6470.11	na'ba <古>	ki'no'ko
6476.13	アイタケ <普。但しこれには マワケは含まれる>	
6476.92	ハワタケ 但し マワケはこの中に含まれる。	
6476.93	ハワタケ この地域では マワケをも含む全ての。	
6477.02	マワケ …… <この内、特に松茸を除く他の茸は サワタケ ひくまのサワタケという。 我、マワケの最も早く出る小形のものを サマワケ、又は サマワという。 その後に大きく育つようになるマワケ を ホマワケという。>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	(2/)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6479.51	hattake (きのこ類, きのこ類のうち, きのこ類にいう, 総称也)	
6480.91	キノ < 夢 >	キノ
6482.75	naba < 毒きのこは dokue naba といふ >	
6484.43	キノケ < この場, マツケに付は 除いた 他のキノケをいふ。在島県ではキノ といふ。 >	
6484.78	キノケ 但し キノケのキノに マツケに付は 含まれない。	
6485.14	キノケ < 但しこの場合, キノケに付は 含まれない >	
6485.80	キノケ 同 二	
6485.82	シメジ (一般に「マツシメジ」に云々と云う。 シメジ キノケ シメジ マツシメジ マツシメジ 同類也)	
	キノケ キノケなど色々ある (キノケ, マツケ以外のキノケ 含めてキノケ類 (キノケ) に含める) (マツケとキノケは シメジの中へは 入れない)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (22)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6486.93	シメシ --- ハツタケ<希>	{ 松茸以外の傘ハられる茸すべてを含め ていう。総称といふと少し異字所が ある。シメシが代々のハツタケと同じ ともいう。
6487.43	ハツタケ	マツタケも毒タケも各地も全くと 含めていう。
6488.48	NR	(総称なし)
6491.49	hatsutake	{ きのこの総称である。 matsutake } などは (おきり きのこ) silitake } いう由である。
6492.11	(?) hat:ake	(hatsutake 以外のことではない由。 近隣の同和島・大島・伯耆島・岩城島・生名島では nabatake (?) をつけたか、山田正純氏の報告(方言2-6)には 香川・栗島・志島・直島・屋島では ハツタケ といふ2113 とある。

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()は敢密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (23)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6494.08	ハ→タケ < 但しハ→タケの中には マ→タケ(松茸)は入らない。 >	
6494.21	マ→タケ < 29島にはきのこは全然生えない >	
6494.55	マ→タケ < ア+ アカ1 マ→タケカ ハエトラ 4624 いう。 >	
6497.77	mattake 毒のたけは dokumattake	
6500.83	クサヒラ < タ >	マ→タケ
6500.88	kinoko < 毒のたけ dokutake, kusabira といふ >	
6503.66	コケ 077より	
6504.01	コケ (077)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 ページ
項目名 きのこ		(B) 除いた共通語
		(C) 除いた特殊語 (24)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6505.58	ミミ < きのこミミという >	
6505.60	kusabira < 多 >	take
6506.55	コケ (77)	
6507.48	コケ (77)	
6508.36	同 上	
6509.38	同 上	
6509.43	同 上	
6509.91	コケ < 希. 地 >	キ/コ
6510.65	キ/コ < 少 > 総称は余り用いない。	
6511.85	mattake < 但しいたけは地面から生える キノコ >	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (25)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6512.14	・総称なし } ... 食用にはならないのは kusabira kusabira	
6514.61	mattake (食用にはならない総称なし) dokumattake } (食用にはならないのをひくは magusomattake } まうようである。) (総称は得られなかった)	
6515.24	・総称はない } < 毒きのこ一般をクソマツケとい > kuso-mattake	
6516.10	ミミ < ミミとは コケのこと > コケ < 稀 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	(26)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6516.15	コケ (77)	
6516.85	タケ <他>	コケ
6517.31	コケ (77)	
6517.65	同 上	
6518.30	同 上	
6518.87	同 上	
6519.43	同 上	
6520.50	NR <総線はない。キノコとイイ。拾は知っていい>	
6521.20	kusabira (但し. mattake 松茸を除いた あとのもの)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (27)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6521.94	マツタケ (?) 総称はほりりせぬ。キノコとはいわぬ。	
6522.03	キノコ タケルイ	後向の仕方の要だったの、明確な答が得られず。「キノコは去いませんか」と言ったところ、「そんなのはタケ類やがキノコともいう」とあった。
6522.79	クサビラ	皆が用いる。従ってキノコは用いる。
6522.93	マツタケ	シイタケはマツタケの中に含まれないようだ。
6524.01	mattake <食用にならぬものの総称> } (総称は dokumattake <食用にならぬものの総称> } 得られない)	
6524.66	mattake <食べられるもの> } (総称はない dokumattake <食べられないもの> } ようである。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	(28)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6526.45	N/K <別ニ総称はない>	
6526.98	マツタケ <きのこの総称としても使う>	キノコ
6527.22	mattake <共通語の「まつたけ」ではなく、きのこの総称である。>	
6530.23	キノコ <マツタケを除いて他のキノコ類を総称キノコと呼ぶ>	
6530.58	キノルイ <共>	キノルイ
6531.53	#キノコ <希.共>	
6533.89	zo:take (総称は答えなかった。但し、松茸以外で食用にできるものをひくためマツタケといふ)と答えた)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(29)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6534.13	take < 食用 - mattake, 有毒 - dokumattake >	
6534.37	mattake < 古 >	
6534.41	zo:take < 食べられないものをひく語。 > (きのこの総称ではない)がある	
6534.85	dokumattake < 有毒のもの > mattake < 食用になるもの >	} この両者使用の 普通である。
6535.73	mattake < 食用になるもの全 > koemattake < 食用になるもの全 >	} (総称なし)
6535.90	#mattake (食べられる) dokumattake (食べられない)	} (「きのこ」の総称 はない)だ)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく>()>〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (30)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6536.32	simedzi (種類を言うのではない。これは総称である。と念を押した。)	
6536.68	take <音>	
6537.21	si:take <これは kinoko の総称であり、「しいたけ」のことでもある>	
6537.68	koke <地> <土地の農家の人がすくしいは 25歳使う。>	kinoko
6538.02	kinoko <84に zo:kinoko といふ語がある。これは念いられるもたけで、しかも「まつたけ」「べにたけ」は中に入らない>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	—ジ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(3/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6541.27	キノコ [ホノマツタケ 即ち共通語の松茸、椎茸、毒茸も一切をマツタケという]	
6541.52	NR <キノコともいわない>	
6541.66	マツタケ 松茸以外のマツ	
6542.27	キノコ <少> 総称は昔からのコトハとして はきりした語形がかわらないとい う管見	
6542.32	マツタケ <少> 総称ははきりかわらない	
6542.71	▲ 総称なし 食用茸は各々名がある。 kusomattake 毒茸	
6543.56	キノコ <少> 総称は普通 全く用いられない。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (32)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6544.26	zo:take < mattake以外の食用茸 > dokumattake < 有毒茸 >	} ? 総称 なし
6545.88	kabi (同席した奥さん(60才位)が驚いて、そんなことは去わぬと主張した。確かにこういふと去った。なお、奥さんはtakeという。)	
6546.15	タケ < タケトりに行く、たけのこがた。他の語と合して使う。タケとだけ単独に言うことは殆んどない。 >	
6548.82	コケ 078 参照	
6551.18	キノコ < タケという人もある >	
6551.52	NR < マツタケはマツタケ、シメタケはシメタケで総称はない >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
079	245		
項目名		B 除いた共通語	(73)
きのこ		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6552.71	マツタケ ... 分布より食用茸の総称と認む Tak. トクゾウ < マツタケ以外の茸はトクゾウと言ひ、それらの総称はない >	
6552.88	mattake < 毒のは含まない。又、「しいたけ」も別の物と意識してゐる >	
6552.90	mattake < 「マツタケ」。但し総称として意識はないか(他に言ひ)かない。「キノ」を使わないから。 >	
6553.22	mattake < これは「きのこ」の種類名だが、また総称にも用ゐる。「毒茸」は「フナヤマタケ」といふ。 >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (34)
079	245		
項目名		きのこ	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6553.47	▲ 総称なし <食用になるものの個別的な名称あり… シメジ, マツタケ, ハンタケ, フロカク(クロコ) など。> クソマツタケ <食用にならぬものの総称>	
6553.83	mattake <ふつうにいう「マツタケ」は「ホンマツタケ」, それ以外で食用になるものは「ソマツタケ」「シメジ」「ネスマツタケ」などがある。食用にならぬものは「ドクマツタケ」「ドクマツタケ」という。>	
6554.08	NK <一つ一つの種類を呼ぶことはあるが、全体をまとめて言うことはない> (まつたけは当地で変量に老去し、調査当日もまつたけ狩りで賑わっていた。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(35)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6554.88	zo:take } < mattake 以外の食ひれはなし > kusabira <古> } kusomattake <食ひれなしのもの> } 総称はない	
6557.36	[hattake]	
6560.22	NR < 名称なし ← おとな >	
6560.40	NR (総称はない)	
6561.49	NR < 総称なし。個別名を用う >	
6563.43	? mattake < 個別の名前は各々ある。最も 普通なのは「マツケ」とあり、 食用費をとりに行く時は「マツケ ヒキ」と言うから、総称として 「マツケ」となる。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	(36)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6563.58	mattake < 松茸の比ではない。茸類一般。 > kusabira < 古 >	
6563.84	mattake < 松茸は hommattake, 毒茸は ketsune mattake. > kusabira < 松茸を除いた地をクサビラと云う >	
6564.33	? mattake < 「マツタケ」は食用中の最もよいもので、 他に食用には しいたけ (しいたけの切) かあさだめ それに 毒茸 は 「クサビラ」という。このクサビラを含めての総称は、強いて言えば「マツタケ」というより他にはない。 >	
6564.51	kusabira < 食用、非食用に拘らず。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(37)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6565.22	タケ < 多。八分迄 タケを用い、五分=分迄 キノコを用い >	
6567.79	hattake ひくちめてえ。	
6568.13	* hattake	
6570.89	マツタケ < 毒のあるものはトクマツタケ > < 但し椎茸のみはシイタケ >	
6571.15	マツタケ < 個別的には 〇〇マツタケ という。 >	
6572.04	30:take (食用になるものの総称) トクマツタケ (有毒のもの)	
6572.22	マツタケ (松茸の代表的なものから言)	
6572.29	mattake (総称である)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A) 普通注記	ページ
項目名 キノコ		[B 除いた共通語]	(38)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6572.97	mattake < 食用茸の総称 > } < 総称はない > クサハラ < 非食用のもの > }	
6573.17	mattake < 食用... マツタケ、シメジ、ズブタケ、 ウシカワ (皮の黒いもの) 毒茸... クサリマツタケ >	
6573.71	kusabira < 「マツタケ」「シメジ」などは特に、その名 を呼ぶが、総称は「クサハラ」である >	
6574.06	? mattake < 食用茸 食用茸の中で最もマツタケは 「マツタケ」(いわゆる「マツタケ」)、「シメジ」「ノビタケ」 など個別の名前もあるが、総称は「マツタケ」。 毒茸は「ドクマツタケ」。食用、有毒、両方含む 総称は別になく、言うならば「マツタケ」しか ないだろう。 >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	(39)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6575.17	シタケ < これもこれも シタケで呼ばれていた。 目きかいて、それが 食べられないツタケや その他の種類を識別してくれた。 >	
6580.06	NR 総称なし	
6580.33	キノコ < 有毒なもの 総称はツタビロ >	
6581.52	マツタケ < 食用 > ドクマツタケ } < 非食用 > ツヤツタケ } (シシタケは古い標本で、マツタケの 食用種の一つで総称のようである。 厳密には個別の名である。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 029	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		(B 除いた共通語)	(40)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6581.68	クサビラ < 有毒なものもトクノクサビラという >	
6582.12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総称なし < 食用のものは マツタケなど個別のものをい。キノコは総称で主に マツタケのこととされている。 > クサビラ } < 有毒のものは ひくひめクサビラとか クソタケ } < クソタケという。 > 	
6583.41	kusabira < マツタケやシメタケは 同一種。有毒のものは ひくひめクサビラ。 >	
6583.45	take (毒キノコはクサビラとい。食用キノコの種類を沢山挙げたので省く)	
6590.87	キノコ < 有毒のもの総称はクサビラ >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (4/)
項目名 キノコ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6591.02	? キノコ	
6593.30	誘 kusabira <毒茸>	ki'no'ko
6593.98	kusabira (有毒 無毒を問わず。総称的)	
6594.67	N.K. <学校では「キノコ」と習ったが記憶 が日常用いない。>	
6595.32	N.K. <この地では余り見ないがよく知られる>	
6607.03	ki'no'ko <相模方言圏内では一般に[kino'ko]。 相模方言圏と東京方言圏とを区別 する語があるか?>	
6607.84	ki'no'ko (相模方言圏内ではどうも[kino'ko] らしい。八王子、目黒区には[kino'ko] である互参照。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (42)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6609.02	matsudake } 種類名。総称なし。 kinoko — 「雨時と違ふはきのこ; 木の くるもの。」	
6618.25	kinoko (今年各地に大井の 079 は [kinoko]。 [kinoko] 対 [kinoko] の対立関係は 武蔵型と相模型 の対立を系す一例と いえるであろう。)	
6618.51	kinoko < 木へきのこ > } < 総称はない > hatsudake < 地面へきのこ > }	
6621.57	kinoko 俗。「椎茸だけ」の称。各々の称なし。 総称はもともとはなし。kinoko と tsutsumikinoko の区別はない。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(43)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6628.23	kinoko < 昔は総称はなからた。 >	
6630.82	kinoko < 普通しいたがここは > (こゝは椎茸の産地)	
6631.69	tsumtjiginoko — 最も多く使	kinoko, jamaginoko
6642.58	tsumtjiginoko kinokoはしいたがのこと。 しいたがの特産地であるから。	
6642.85	NR 総称なし。椎茸を特々 kinokoとい ニキリツケ、ツリツケ、シメシ、サマツ、ハツツ などという。ツケといふことは総称は有ること もない。	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (4f)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6645.37	kinoko (しいたけ, きくらげの菌木にてできる)	全体としての総称はNR。
	tsutsujinoko (まつたけ, はたけのよりに上に あるもの。 (以上のものしめじを加えたものを全て食用。))	
	doku'take (有毒のもの総称。)	
6650.12	ha'take きのこの総称。 ma'take, simeji は総称の中に入らないで割。 くそたけを kusoba'take と書く。	
6650.70	ha'take (きのこは「はつたけ」にだけしない)	
6655.51	kinoko (しいたけ, きくらげの菌木にて食用の菌) take (まつたけ, はたけのよりに上からできる食用のたけ)	

dokukinoko } (毒のもの)
doku'take }

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	(45)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6656.31	ʃi:take (きのこの きのこいも。いたけも。 きのこいも。)	
6665.01	ʃi:take dokun no ʃi:take のぶりにまう。	
6665.25	kinoko <キノ>	
6697.49	kinoko <この形はキノ科のキノ科。古い形 はキノ科のキノ科。>	
7248.15	naba cf. nabja:naru 1) 傘のキノコになる。 2) キノコ、キノコ。	
7266.92	kinoko きのこはキノ科。nabaはキノ科のキノ科。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(46)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7338.48	naba < 毒背は dokku naba >	
7338.55	naba < dokku naba ともい >	
7339.27	naba < naba tori ni iku > 953に便す。	
7349.07	naba < naba-tori ni ikoja > などと言。 < honto: wa take de so: na > と言, zuta.	
7353.03	nama (複合語には ~naba もある。 m mankyuso naba, dokku naba など)	
7357.64	take < 取 > < 椎茸栽培家の間から広まった語 > (7721 未詳)	
7359.78	take < 毒 >	naba

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	(47)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7372.27	<?> タケ	ナハ
7373.92	ナハ < ナハをコケとはえはぬ > <?>	
7374.75	ナハ < コケは使われぬ >	
7393.62	キコ < ナハよりも古いことばと思ふ > (?) ナハ	
7394.85	naba < 地面に生えるの E zi'naba. 木に生えるの E ki'naba といふ >	
7400.11	ha'take (こゝを便りに使う。種類は ha'take のある。種類 E の yu'ka'gi < ha'take tori ni iko ja > などといふ由。)	naba

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は敢密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	(48)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7400.15	takefumi < 取ったお言いの時に言ふ >	naba
7401.60	takemo ⁿ < .ふじ takemo ⁿ tori ni ikoja と言ふ >	
7401.11	zatsutake < aburatake, si: take, hatsutake などを用いる。 matsutake は zatsutake の中へ含めて用いる。 >	
7402.42 [#]	kinoko (matsutake, hatsutake など 個々の名をあげ、時々 品名符の代わりに する。)	
7404.12	(?) gozadake [#] (1ヶ所に数多く集り、こぼれ落ち るを言ふらしい。 (matsutake, hatsutake, dokutake のふりに言ふ。余りまとめた言ひ方をしないう と 言ふらしい。)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は敢密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (49)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7410.57	take (個々の take 類は <tʃa-take>, <doku-take>, <matsum-take> と言ふ。 (地域内には naba 区使用のものもある。)	
7411.27	take (<上浮穴郡の方では naba と言ふ> と言て面白き)に倍, 2いた。)	
7412.26	naba 多	take
7412.71	dake <Futoi mono> sinezi <komai mono>	
7415.47	[naba]	kinoko
7420.18	naba, take ... <区別しない> kinoko <matsumtake のおこなを派 はのと言ふ。>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (50)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7421.38	kinoko < ki:i haeku mono zakeru ju: > (<naba> wa 毒のキノコなどの毒を 言う。い。)	
7425.27	# dake	
7427.24	NR (077sでコケが去たので削除せず) 077 koke < 毒たけを言う > ← 不採用.	
7430.80	naba (きのこの多い産地を nabajama と言う由)	
7431.08	naba < 無毒の毒い、毒蕈は dokunaba take dokunaba と言う。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > [] は敢密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (51)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7500.24	<p>総称なし (食用になるものは シメジ, シメシ など個別の名を用いる)</p> <p>クサビウ (食用にならないもの総称あり)</p>	
7500.66	<p>NR 総称なし。</p> <p>< 各々の名をいう ></p>	
7501.14	<p>kinoko ... 食用 } kusabita } 有毒 } 総称なし。 dokudake }</p>	
7503.11	<p>? mattake < 食用になるものみの総称。個々の名としては mattake, si:take, simesji などがある。 ></p> <p>クサビウ < 食用になるもの > } 両方食用 } 総称は不明。</p>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	(52)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7504.27	takerui たいけい類の意	take
7504.64	NR < 但し、kinoko ではないと思ふ >	
7510.18	・総称なし。 < 食用にするものは マツタケほど別々の名をいふ。 > ツサビラ < 有毒なものゝ総称 >	
7511.93	#キ1コ	
7513.01	NR (総称名は無いようである)	
7513.15	誘 kusabi ⁷ ra < 毒茸 >	kinoko ⁷
7513.43	NR [総称名はない]	
7521.16	・総称なし < 食用のものにはマツタケ、ヒメタケ、 シメジ等は、各々の名をいふ。 > ヒメタケ } ツサビラ } < 有毒なもの >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (53)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7522.48	・総称なし <食用のものは個別の名を言う。 キノコは 使用していない。>	
	フサビラ } <有毒のもの> トクダケ }	
7523.05	・総称なし <食用のものは個別名。> フサビラ ... <有毒なもの>	
7523.30	同 上	
7523.74	NK 総称なし. takeともいう?	
7533.11	・総称なし <食用キノコは各々の名をいう> フサビラ <有毒のもの>	
7659.53	ji:take (椎茸しかない)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(54)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8229.96	<p>▲ 総称はなし</p> <p>naba (naba と最初 答えたのは きのこ 有毒のものというのであり、次に 種類別々の名 シレバ とか 出た。)</p>	
8239.31	NR < 旧別名で言い、総称はなし >	
8300.80	ナハ (コケとは かわない)	
8305.76	naba < 木に生える菌と 区別して [djinaba] と云うこともある >	
8311.59	naba < 毒あるのは dokunaba とい >	
8314.52	dzi ⁷ naba < 土に生えるもの >	
	kinoko < 木に生えるもの >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(55)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8320.98	NR < 総称なく、品別にいう >	
8331.12	NR (総称は得られなかった)	
8331.98	NR 調味心もち	
8332.07	naba < 古 >	kinoko
8332.84	naba < 希 >	
8333.79	naba < 希 >	kinoko
8333.92	kinoko -- 食用と有毒もの naba -- 毒あるもの	
8341.12	[kinoko<?>] nabaはケルコシカケ よるもの。	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (56)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8342.35	kinoko [^{有毒} 食べないものは naba と呼ぶ]	
8342.69	kinoko < 多 >, naba < という人もある >	
8343.97	naba キノコとは 椎茸のこと。	
8351.07	kinoko < naba は 有毒のもの >	
8353.63	kinoko 食用のものだけ。 naba 有毒のもの。	
8360.39	NR (simeji と答えたか 繭糸にならぬ)	
8361.31	kinoko naba...食用とならぬ simeji...しめじ } というより 食用。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は敢密にする。

質問番号 079	地図番号 245	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (57)
項目名 きのこ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8362.34	kinoko きのこの } このよに区別する。 naba 毒のあるもの }	
8362.81	kinoko (kinogo と発音化せず)	
8364.33	kinoko 食用のもの } この区別はあるが総称 naba 有毒のもの } はない。	
0228.96	simizi < しじい というのはが総称 >	
0294.66	# na:ba	
0340.00	simedzi < これを多く食用するので一般にシメジ と言って呼ぶもの。 naba: naba: というコトもあるがこれは 有毒の菌類を指す >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(58)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1211.69	simidzi } 食用 mimigui } } 総称はない na:wa } 不食 maykusu }	
1221.47	simidzi } 食用 mimigui } } 総称なし. na:wa — 不食	
1261.01	na:ba 総称(大きい) simidzi ... (小さい)	
1270.26	mimigui <「ナハ」といふ語はない>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	(/)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4637.20	kinoko 〈新〉	modase 〈古〉〈新〉 (南魚沼郡湯沢町大字土樽に。 motafi という語あり。 独立しては用いず。sugi- motafi (杉の古株に住む -種やsa-) という語の -部となっていて。)
4647.69	kinoko 〈共〉(「外に何と云いますか」と 向うた所へ戻す)	koke
4653.47	kinoko 〈共〉	mimi
4666.42	kinoko 〈新、共〉	koke
4666.51	kinoko 〈共〉	koke 〈古-型〉

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 きのこ		(B) 除いた共通語	(2)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4672.19	kinoko <共> <若い頃も少しは用いた>	mimi <若い時の盛 に用い、今もこれを最も 多く用いる。子供には しても青年に対しては これを用いる。>
4685.10	kinoko <共>	koke
4686.52	[kinoko] <新> <共>	koke 昔から今まで用いている。
4695.33	kinoko (新)	koke <若い時の新と用い、 今も主にこれを用いる。>
5568.22	<共> キノコ	コケ
5590.53	キノコ <やや新しい感じ>	ケケ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 キノコ		[B] 除いた共通語	(3)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5611.39	kinoko <共> (「外の言い方はありませんか」の返句に好転反転。)	koke <子供の時のみ用い、今も老人に用い>
5611.81	kinoko <稀> (稀)	koke
5612.39	キノ (共) (上)	コケ
5613.33	kinoko <新> <青年になつてから使ひ出した>	koke (「外にない方ではありませんか」に好転反転) <昔からこれを使ひ、今もよく用いられるが、知らない> <一般の人には koketoricu> (「上」一般の人には用ひない)
5613.53	kinoko <共> (改訂の場合使)	koke (友人間に使)
6357.74	キノ <「いた」のみに言>	キノ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は敢密にする。

質問番号 079	地図番号 245	① 普通注記	ページ
項目名 きりこ		[B] 除いた共通語	(4)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6367.09	ナハ<松茸>, タケ<椎茸>	キノコ
6377.65	キノコ<新>	ナハ<木に生えたもの> クサビラ<地に生えたもの>
6403.60	クソタケ<毒茸>	タケ
6409.71	キノコ<共.希>	タケ
6422.16	クソタケ<毒茸>	タケ
6476.13	キノコ<新>	アヲタケ<普。但しこれには アヲタケは含まれない>
6489.01	キノコ<新.共.希>	クサビロ
6500.22	キノコ<新しい感じ>	タケ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ
項目名 きのこ			(5)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6506.03	キノコ <共>	コケ
6508.06	キノコ <共>	コケ
6511.85	kinoko <形>	mattake <但し、椎茸は 地面から生えるので含まない>
6514.25	kinoko <共>	mattake
6516.85	キノコ <共>	コケ, タケ <他>
6534.37	kinoko <形>	mattake <互>
6534.41	take <松茸>	zootake <傘のしんじょうを ひくもの。> (きのこの総称はないうたぬき)

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号欄に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 きのこ		[B] 除いた共通語	(6)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6534.85	kinoko <共>	dokumattake <有毒キノコ> mattake <食用> <上記の二つを扱うのが普通 である>
6536.68	kinoko <kinokoというtakeが普通>	take <普>
6541.66	キノコ 松茸の池	マツタケ 松茸以外のキノコ
6560.22	マツタケ <子>	NR <名称なし←ミミナ>
6565.22	キノコ <八分位 タケを用い. キノコは二分位>	タケ <多. 八分位 タケを用い おとろ二分位 キノコを用いる>
6568.13	kinoko 注なし	*hattake
6576.32	kinoko <上>	take

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 キノ		(B) 除いた共通語	(7)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6646.74	kinoko <希>	take
6650.70	kinoko <希><希>	ha'take (「キノ」は 「ハ」 「ト」 「ノ」 「キ」 「ノ」)
6655.38	kinoko 希	ji:take
6665.25	NR 総称はナバ	kinoko <希>
6698.20	kinoko <希>	mimi
7321.93	キノ (希)	ナバ
7349.86	kinoko <希>	naba
7349.91	同 上	naba
7362.67	キノ <共>	ナバ

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 079	地図番号 245	A 普通注記	ページ
項目名 きのこ		(B) 除いた共通語	(8)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7372.27	キノ <#>	ナハ , <?> ナハ
7391.94	キノ <#>	ナハ
7401.60	kinoko <上>	takemo" <上> takemo" tori ni ikoja といふ>
7404.56	kinoko <#>	take
7430.75	上 kinoko	naba
7430.80	kinoko <#>	naba (きのこの多いところを naba jama といふ。)
7431.08	kinoko <#>	take
		naba <有毒のまき。> dokunaba 毒茅はナバ といふ。>

